

ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ2012(ミキハウスカップ大阪2012)開催

遂に関西地区に初登場、ミキハウスカップの紺のブレザー(袖を通したのは和歌山ジュニアヨットクラブの近藤海斗君)

連続21回東京若洲で開催されていたミキハウスカップですが、関西地区で初めての大会がミキハウスの本社のある大阪の北港ヨットハーブにて、9月23日(日)に開催されました。大会には、8クラブ31艇の選手が参加。石川県羽咋市、鳥取市湖山池、京都府宮津市、香川県高松市、和歌山市、山口県光市、など遠方からもたくさんのジュニアクラブが一堂に会し、とても賑やかな大会になりました。ホストクラブの地元大阪北港ディンギークラブが、懇親会用にBBQを用意してくれてお腹一杯にお肉を頂きながら表彰式を開催。特別協賛のミキハウスよりOP級上級者クラス優勝者の和歌山ジュニアヨットクラブの近藤海斗君に紺のブレザーとトロフィーが渡されました。その他ミキハウス製品が一杯参加者に渡されて皆大喜びでした。



近藤海斗君(中央)とウィンドサーフィン・ロンドンオリンピックに出場した須長由季選手(左)



ロンドンオリンピックのウィンドサーフィン・須長由季選手が登場



ウィンドサーフィンRS:X級でロンドンオリンピックに出場した須長由季選手が特別サービスでトッパークラスに乗りオープン参加。6名の中学生と5名の大人のコーチと一緒に真剣勝負のレースを行う。大学以来のティラー操作にビックリ顔。

ミキハウスの内定社員が入社前研修の一環で大会運営を手伝うのも日本初

本社のある大阪での大会は、研修の場として絶好の機会。ミキハウスの内定社員(平成25年度採用内定)が社員研修の一環として、体験ヨット教室で体験試乗を行ったり、大会本部の設置や懇親会のBBQの手伝い並びに表彰式の計画実施を経験しました。このように、大会運営や子供達とのコミュニケーションを取る場面の経験を、入社前研修として捉えてくれたミキハウスさんは懐が大きな会社でした。



国際交流としてアクセスディンギーに初挑戦



インターナショナルスクールの生徒5名の家族が初めてアクセスディンギーによるセーリングを経験しました。子供達もいきなり自分たちだけでポンド内をセーリング。大喜びの一日でした。